

目指せ! レインマスター

Wiping & Grip

長雨
対策

今年も長雨の季節が、もうすぐやってくる。

雨降り時の悩みと言えば、視界の悪化。

その対策法等々を、ここから20ページにわってじっくりと解説していく。

雨対策は、雨が降っている最中には行えないメニューがほとんど。

気候の良い今のうちに、ぜひとも実行を!

雨長 雨が降 対策は る前 に!

まずやつておくべきは、プロントウインドウ越しの視界確保。そのための推奨メニューは、主に3つある。1・プロントウインドウの汚れ落とし、2・撥水加工、3・ワイパーのメンテナンス、以上だ。これらがなぜに必要なのかというと…

最初に「汚れ落とし」の必要性について考えていく。雨降りのときにやつかいのは、油膜だ。これが付着してい

ると、雨が降ってきたときには、

前方視界だけでなく
側方、後方についても：

そして、ワイパーのケアも至つて大事。ガラスへのケアを完全に行えていても、ワイパーがヤレていたら、快適性はガタ落ちとなる。

中で運転を続けるしか、手立てはないのだ。そうならないための対策を、梅雨が始まる前の今こそ実践するべきだ。

さて、油膜をきれいに落としきれたら、すかさず、撥水加工。を施そう。なぜならば、油膜を取り除いた直後が、これを行う最良のタイミングであるからだ。ガラスがキレイであるほど、撥水加工の効果が上がる。そしてこれは、汚れを寄せ付けにくくする効果も發揮する。せっかくガラスをキレイにしたのだから、その状態をより長くキープしたい。汚れ落としと、撥水加工は、セットであると考えよう。

晴れているときには不便を感じていなくても、雨が降ってくると一気に各所の視界が悪くなる。しかしながら、そこからできることは限られている。大抵の場合、視界不良の中で運転を続けるしか、手立てはないのだ。そうならないための対策を、梅雨が始まる前の今こそ実践するべきだ。

さて、油膜をきれいに落としきれたら、すかさず、撥水加工では落とそうと意識して、確固定たる対策を打たなければならぬ、というわけなのだ。

雨天時の視界不良は
晴天時には気が付かない

一方に問題を発生させる。前方の景色を重ませ、夜間であれば、対向車のヘッドライトの光を乱反射させる。

なおこの「油膜」は、シャンブー洗車では落とせない。これを落とそうと意識して、確固定たる対策を打たなければならぬ、というわけなのだ。